

新篠津村

移住定住後も切れ目なく

～選ばれるまちづくりへ～

令和8年7月3日、本町で課題となっている移住定住・ふるさと納税について、新篠津村へ視察に行きました。

移住・定住の促進には、子育て支援と住宅施策を一体的に取り組み、引越越し支援や空き家解体補助など住宅支援を充実させるとともに、定住促進リフォーム事業では、予算を増額したものの早期に使い切り、制度への高い需要がうかがえました。

リフォーム事業に成果



▲新篠津村の議場にて



▲わかりやすく作成し情報提供している移住定住等のパンフレット

地域資源をフル活用

道内有数の米どころ新篠津村では、返礼品の約95%を米が占める一方、玉ねぎや有機干し芋など新たな返礼品の開発にも取り組んでいました。

また、返礼品の管理や発送を専門事業者へ委託し、効率的な運営体制を構築しています。

専門事業者のノウハウを活用しながらも、行政として制度全体を管理する役割の重要性についても学ぶことができました。

定住を決意



▲太陽も見られる新篠津村天文台

天文台の運営を地域おこし協力隊が担当しており、望遠鏡を使って太陽を観察したり、分かりやすい説明を受けました。

子どもの頃から天体が大好きで、すでに定住する意思を固めていました。

移住・定住促進 地域おこし協力隊、ふるさと納税は、本町が抱える少子高齢化、人材不足、財源確保など様々な問題を解決させるための重要な事業と捉え、精度を上げて取り組むべきと考えます。

新篠津村…人口2,666人（令和8年4月1日）。基幹産業は農業。
令和7年度ふるさと納税額 1億5,363万円